

垂水一心

編集：垂水中央中PTA広報文化部 発行：垂水中央中学校PTA

卒業生の皆さんへ

PTA会長 後迫 智洋

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

子供たちが無事、中学校三年間の学業を修め、この垂水中央中学校を巣立ち羽ばたいてゆく良き日を迎えられるましたのも、日々熱心にご指導くださった亀山校長先生を始め、教職員の方々のおかげと心より感謝しています。

そして保護者の皆様、お子様が生まれたときの感動、成長を見守る喜び、もちろんそれだけではなく、不安や葛藤も数え切れないくらい感じてこられたことでしょう。

十五年間でこれほどまでに立派に育て上げられ、義務教育修了という大切な節目を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、家庭、仕事、子育てなどいろいろなることを両立させつつ、PTA活動への御協力もいただき、本当にありがとうございます。

卒業する子供たちだけでなく、保護者の皆さんも、この垂水中央中学校でお互いに絆を深めた仲間たちがいることを、これから先もずっと忘れないでください。

それぞれの道に羽ばたいていく卒業生の皆さんのこれからの活躍と健康を心から祈念いたしまして、私からの祝いの言葉とさせていただきます。

卒業



おめでとう

学校長 亀山 浩一

今野敏の小説『天を計る』という本に「小野友五郎」（おのともごろう）という人がでてきます。彼は江戸時代末期、浦賀港からサンフランシスコに向かう、咸臨丸（かんりんまる）に航海長として乗り込みます。その航海で、日本で学んだ航海術や算術、測量術を使って、アメリカ海軍の船長相手に互角に船を進めます。帰国後、国産の軍艦製造や江戸湾の測量を行い、これからの日本の取るべき正しい針路を測り、日本のために奔走する物語です。

彼は、目の前の難題に対し、「大きなことも小さいことの積み重ね、物事を難しく考えず簡単なことを足し算していく、自分ができることは何でもやります」と得意な算術を武器に、目の前の任務に全力を尽くし、鉄道建設にも尽力していきます。小野友五郎のように、誰かの役に立つ、日本のためになる、世界のために働く、そんな人が垂水中央中学校の卒業生から出ることも夢の話ではないだろうなと思っています。

十年後、二十年後の皆さんの成長した姿が楽しみです。

永遠のわれらが母校

演里忠宣 作詞
藤尾清信 作曲

- 一、桜舞う豊けき郷に
本城の清き流れに
あゝわれら三年の友と
永遠に結びてゆかん
- 二、つつじ咲き耀う丘に
風わたる五月の空に
かえらざる三年の夢を
永遠にかかげてゆかん
- 三、錦江の潮の行手に
新しき歴史の道に
刻みゆく三年の学び
永遠にまもりてゆかん
- 四、火の島の熱きころは
よろこびも悲しみの日も
あゝわれら生きゆく力
永遠のわれらが母校（くり返し）

卒業おめでとう!!

卒業に寄せて

三年一組 松元 りみ

短かったと感じる中学校三年間、私は友達とくだらないことで笑うことが多かったです。特に部活動のみなどはよく笑い、顧問の山田先生に「お前たちは元氣だな。」と言われていました。

部活動では、きついことや楽しいことなどたくさんありましたが、その分成長することができ、私にとって一番の思い出になりました。

これから、新しいスタートをきることになりますが、三年間学んだことを活かして目標に向かって頑張りたいです。

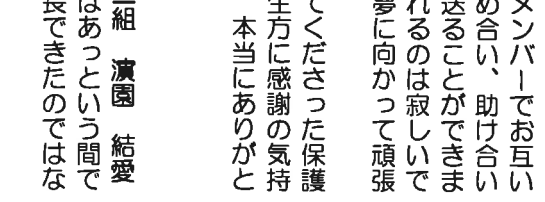
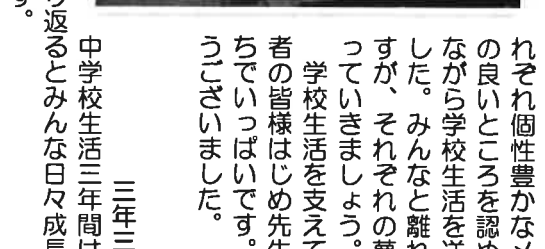
三年一組 川井田 あすか

長いようで長かった中学校生活が終わろうとしています。ただ長かっただけではありません。その中には悲しかったこともありましたが、たくさん喜びがありました。そしてその喜びは常に、同級生、後輩、保護者の方々、先生方の支えによって存在していました。長い三年間は、私にとって深い実りの時間でした。実った実はこれから私の心を彩ってくれることでしょう。

三年一組 石川 心優

私は、この中学校三年間で、多くのことを学び、成長することができました。特に三年生で過ごした日々は、とても濃い毎日でした。

体育大会では、応援の部で優勝し、応援団のみんなと喜びを分かち合えたことがとても良い思い出です。たくさん努力して練習したからこの結果でした。



合唱コンクールでは、指揮者賞を獲得することが出来ず、悔しい思いをしました。最優秀賞を受賞することが出来ず、とてもうれしかったです。

そして、最後の吹奏楽コンクールで金賞を受賞することが出来ました。吹奏楽部では、リーダーとしての責任感やチームワークの大切さなど、多くのことを学ぶことが出来ました。

たくさん楽しいことがあった分、辛かったこともありました。色々な経験をしたことで、成長した場面が多くありました。楽しい中学校生活を送らせてくれた友達に、とても感謝しています。ありがとうございました。

三年二組 駿河 奏

中学校生活をふり返ってみると、あっといふ間の三年間でした。僕が中学校生活をとおして特に頑張ったことは、バレーボール部での活動です。毎日の練習で、きついことつらいこともたくさんありましたが、今思い返すとそれ以上に良い経験になったと感じます。お互いを励まし合い、助け合ってきたので、仲間の大切さを強く知ることができました。僕が成長することができたのは、指導してくださった先生方の

三年二組 才原 初音

三年間を振り返ると長かったようで本当にあっという間でした。中学校生活の中で新しい仲間と出会い、最高の思い出がたくさんできました。私たちの学年は、明るくてみんな仲が良く、活気のある学年でした。それぞれ個性豊かなメンバーでお互いの良いところを認め合い、助け合いながら学校生活を送ることができました。みんなと離れるのは寂しいですが、それぞれの夢に向かって頑張っていきたいと思います。

三年三組 演園 結愛

中学校生活三年間はあっという間でした。今、振り返るとみんな日々成長できたのではないかと思います。

私が一番心に残っている思い出は、中学校最後の体育大会です。どうやったら優勝できるかをみんなで考えて、ときにはトラブルがございましたが、一致団結した結果、優勝することができました。

中学校を卒業すると、みんなそれぞれ違う道に進んでしましますが、自分の将来の夢を叶えるために一緒にがんばっていきましょう。みんなで作った思い出は忘れません。今まで本当にありがとうございました。

三年三組 才原 初音

三年間を振り返ると長かったようで本当にあっという間でした。中学校生活の中で新しい仲間と出会い、最高の思い出がたくさんできました。私たちの学年は、明るくてみんな仲が良く、活気のある学年でした。それぞれ個性豊かなメンバーでお互いの良いところを認め合い、助け合いながら学校生活を送ることができました。みんなと離れるのは寂しいですが、それぞれの夢に向かって頑張っていきたいと思います。

三年三組 演園 結愛

中学校生活三年間はあっという間でした。今、振り返るとみんな日々成長できたのではないかと思います。

私が一番心に残っている思い出は、中学校最後の体育大会です。どうやったら優勝できるかをみんなで考えて、ときにはトラブルがございましたが、一致団結した結果、優勝することができました。

中学校を卒業すると、みんなそれぞれ違う道に進んでしましますが、自分の将来の夢を叶えるために一緒にがんばっていきましょう。みんなで作った思い出は忘れません。今まで本当にありがとうございました。



修学旅行

二年一組 前原 彩萌
令和五年二月二十日私たちは修学旅行に出発しました。一日目は戦争について学び原爆の恐ろしさや命の尊さを改めて感じました。平和講話では被爆した方の話を聞き戦争がどんなに悲惨で悲しいものかを知りました。二日目は自主研修で長崎の有名な観光地を回りました。普段乗ることのない電車などに乗り色々な経験をすることができました。夜は友達との楽しいおしゃべり、バスでは添乗員さんとの一期一会を大切にステキな思い出ができました。

二年二組 坂崎 太晟
僕にとっては、忘れられない修学旅行になりました。一日目は、原爆が落とされた長崎をガイドさんと回り原爆の恐ろしさや悲惨さを痛感しました。また、平和講話では、被爆経験者の森田さんの話を聞き、原爆は一瞬で人の命を奪い心までも侵すことを知り、平和のありがたみについて考えさせられました。二日目は、自主研修で長崎の文化や歴史を学ぶことができました。三日目のグリーンランドでは、たくさんのアトラクションに乗り楽しむことができました。三年ぶりに県外に出ることのできた修学旅行は、とても心に残る二泊三日でした。



二年三組 俣江 啓次
三日間の修学旅行が終わり、いろいろなことを学ぶことができました。被爆者の方の話を聞いて、すごく心が痛みましたが、命の大切さを改めて感じることができました。自主研修では自分たちの計画に沿って長崎の歴史に触れ、楽しむことができました。今回の修学旅行で学んだことを、今後の生活に生かしていきたいです。先生方や保護者の方々のおかげで楽しい修学旅行を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

平和学習・宿泊学習で学んだこと

1年3組 西原 才葵

1日目の平和学習では、実際に垂水の戦跡を訪れ、自分が今いる場所で何があったのかを実感することができ、命の尊さについて改めて考えることができました。



宿泊学習では、集団生活の場では相手に迷惑をかけないように行動することなど、日頃の学校生活で心がけなければならぬことを学ぶことができました。この宿泊学習で体験学んだことを、今後の生活に生かしていきたいです



3年生の保護者に質問

(32名の方に御回答いただきました。御協力ありがとうございました)

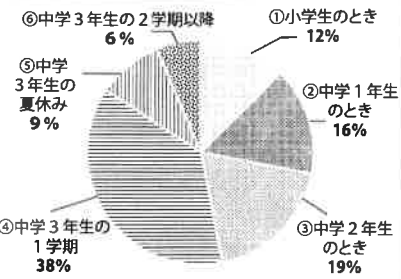
Q3 試験会場に行く子供にどのような声かけをしますか(しましたか。)

- ・緊張すると思うけど、落ち着いて頑張っておいで。・ベストを尽くして頑張る。・リラックスして。
- ・文章問題等の時間がかりそうな問題、難しい問題は後回しにして、自分が分かる問題、計算問題、漢字等の問題から解くように伝えました。面接は、ゆっくりはつきりと受け答えするように伝えた。
- ・最後まであきらめないで頑張る。・自分を信じて。・悔いのないように。・大丈夫、大丈夫。どうにかなるからと、安心させる声かけ。
- ・時間配分を考えて、苦手なところは後回しにしたり、とにかく答えを埋めよう。・自分ができていることを精一杯頑張っておいで。
- ・いつも通りやってください。・深呼吸、深呼吸。名前を書いてね。できる問題から解いていけば大丈夫だよ。〇〇(名前)なら大丈夫だよ!!
- ・特別な声かけはしない。・なるべく親が普段通りにして、子供が気負わないような雰囲気作りを心がけました。

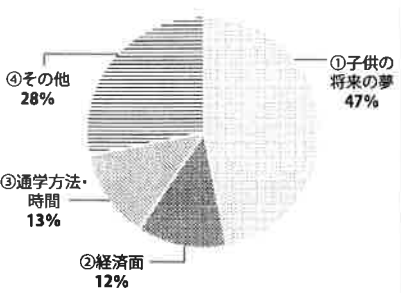
Q4 これから我が子の進路について考える1・2年生の保護者の方にアドバイスをお願いします。

- ・中3の夏休みに、色々学校体験に行つて視野を広げて、公立が第一志望でも、私立を2校くらい受けて自分の力試しや試験慣れするのがいいのではと思います。・早くから塾に行かせることをお勧めします。・子どもが行きたい高校に行かせてあげてください。
- ・検定は取った方がいいです。・子供の行きたい学校に行けるようにサポートしてあげて下さい。
- ・家庭で気持ち良く勉強が出来るような環境を作ると良いと思います。
- ・まずは、公立か私立かを先に決めると絞やすくなると思います。それから子供が将来何をしたいのかを聞いて一緒に話し合ってみるのはいかがでしょうか。・学費は、公立高校が安く、私立は高い。と一概には言えないです。
- ・垂水から通うことなど、親子で一つ一つ調べるのが一番大事だと思います。
- ・子供の将来、親の道しるべも必要ですが、子供の意見を尊重し我が子を家族、皆でサポートして受験に向けて頑張ってください!! 3年生は、あつという間に来ちゃいます(笑)。子供の意向を尊重する。親としては情報を補足するくらいです。
- ・自分で決めた道なら、見守り応援するくらいしか親にはできないかなと思う。
- ・体験入学は可能な限り、参加された方がいいです。実際、見たり聞いたりすることで、本人の志望動機が明確になり、やる気に繋がると思います。
- ・勉強も大事ですが、部活や習い事も続けることが大事だと思います。また、いろいろな方からのアドバイスでいただく言葉は、高校進学時点であまり専門的な方向を決めない方がいいということです。あくまでもひとつの意見ですが。
- ・頑張れと言言葉はあまりかけなかったです。子どもを信じて、なるようになるという気持ちで。進路について普段の日常会話で話したりしていました。
- ・入学したら、1年生から入試までの流れを知っておいた方がいいと思います。あと、高校のパンフレット等を1年生の時から子供に見せておいた方がいいです。
- ・受験を早くから意識させる環境は必要だったなと思います。
- ・成績が良い子は素晴らしいなあーと思いますが、それだけじゃ社会の中では対応出来ない子も出てきます。挨拶一つも出来ない子がいたりして、新人を育てるのに苦労しました。社会性を学べるような所を選択し、学校に考えるのも良いかと思ひます。
- ・親子で一緒に頑張ってください。・子供の気持ちに寄り添いながら進路を決めて下さい。

Q1 いつ頃から進路について親子で話し始めましたか。



Q2 最終的な進路の決め手は何ですか。



今年度を振り返って

【1年学年委員長 前田 愛】

入学当初は、どこか落ち着きがなかった子供たちも、今は、お互いのことを理解し尊重し合えるようになってきていると思います。2年生では、3年生を支え、1年生の良い手本になってほしいと思います。私自身は、先生方、保護者の方々色々な話をし、学校のこと、子供たちのことをより多く知ることができ楽しかったです。一年間、ありがとうございました。

【2年学年委員長 西原 直子】

2学年に進級したと思ったら、早いもので1年が過ぎようとしています。今年度も学校生活は新型コロナ感染防止で制限される行事がある中、2学年らしい落ち着いた少し余裕のある表情に成長を感じました。3学年へ進級しても、時間を大切に2年間で学んだことや感謝する気持ちを忘れずに後悔しないように過ごして下さい。2学年のクラス委員長の方、お疲れ様でした。先生方、一年間ありがとうございました。

【3年学年委員長 木場 由美】

今年度もコロナ禍での活動ということもあり、体育大会や文化祭等、制限がある中での活動でしたが、無事に実施していただき嬉しく思っています。3年生は県内ではありましたが修学旅行にも行くことができ、いい思い出になったのではないかと思います。何も分からず学年委員長になり不安でしたが、みなさんに支えられ無事に1年を終えることができました。一年間ありがとうございました。

■ 研修部

部長 増田 春香

今年度の研修部としての活動は全て中止でした。例年でしたらPTA研修視察旅行で高校に見学に行ったり県PTA活動研究委嘱公が開が実施されたりする予定でした。また家庭教育学級では様々な分野で活躍される講師を招き勉強させていただく機会もなく残念な思ひです。来年度は少しずつ活動が再開される事を願っています。一年間研修部に関わって下さった先生方、部員の皆さん、ありがとうございました。

■ 保健体育部

部長 本田真由子

今年度の活動行事も無事に終わり、保護者の皆様のご協力により、有意義な一年にすることができました。コロナウイルス感染症で残念ながら中止になった行事もありました。保護者が子供たちを応援する気持ちで学校と地域と協力しながら、関わっていくものだと思つて、取り組んで参りました。今後とも子供たちのために、引き続き御協力と御参加をお願いします。垂水中央中の更なる発展を願つていきたいと思ひます。

PTA 専門部

～今年度の活動を振り返って～

■ 環境整備部

部長 俣江 美香

環境整備部の今年度の活動は、二度の奉仕作業でした。たくさん保護者の方々に参加していただき例年どおり奉仕作業を行うことができました。また、生徒も普段の作業では行き届かない場所などを、保護者の方々と一緒にきれいにすることができたのではと思ひます。お忙しい中、朝早くから協力していただいた先生方や保護者の方々に感謝しております。ありがとうございました。

■ 広報部

二年部 芝尾 志保

広報文化部は、一年間で三つの新聞を作成しました。一学期は三年部、二学期は一年部、三学期は二年部の担当でした。少しずつではありますが、コロナウイルスによる行動制限が緩和され、子供たちの伸び伸びとした様子がこの「垂水一心」でご紹介出来たことを嬉しく思ひます。担当の先生をはじめ、お忙しい中、原稿依頼を引き受けてくださった皆様、ご協力ありがとうございました。